

山梨県の一体的実施

平成26年3月3日事業開始

「やまなし暮らし支援センター」を開設し、県とハローワークによる県内への移住や企業へのU・Iターン就職の促進を図るため、移住希望者や新卒者・求職者に対する移住及び就労にかかる支援を一体的に実施

県

移住相談、U・Iターン就職相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

・県内への移住や企業へのU・Iターン就職の促進を図るため、移住希望者や新卒者・求職者に対する移住及び就労にかかる支援

② 協定・事業計画

- ・山梨県知事と山梨労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を山梨県と山梨労働局の間で策定

* 一体的な運営に当たり県は局に必要な取組みを要請することができ、局はその要請を誠実に実行する旨を規定

③ 運営協議会

- ・山梨県職員、山梨労働局職員、労使各団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置(山梨県産業労働部次長が座長)

既存の「やまなし暮らし支援センター」へハローワーク機能を追加して、移住相談、U・Iターン就職等の一体的支援を実現。

(1) 実施体制

県

- 地域雇用担当職員 1名
- 就労相談員 1名 (非常勤嘱託)
- 移住相談員 1名 (委託職員)

国

- 就職支援ナビゲーター 1名
- 求人情報提供端末2台、
職業紹介端末1台を配置

(2) 開設場所

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館6階 ふるさと暮らし情報センター内

(3) 開設日・時間

月曜日～土曜日(祝日、年末年始を除く。)

午前10時から午後6時まで

ただし、月曜日は国が行う業務は除く。

一体的実施事業による就職成功例

男性：30代

希望職種：電気技術者

直近の状況：在職中

① 抱える課題

- ・東京にある建設会社にて営業職で在職中であるが、生活環境を変えたい気持ちがあり山梨県へUターン希望。
- ・できれば同職で転職を希望していたが希望する求人がなくキャリアチェンジも視野にいれながら求職活動を行う。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・単身で移住することになるので場所を固定せず幅広く求人検索するようアドバイスをした。
- ・窓口においては仕事の棚卸をし、求職者の希望を尊重しながらこまめに求人の情報提供を行った。
- ・東京で開催されるUターンフェアの案内をし直接企業の方と面接をしたうえで求人の紹介を行った。

③ 結果 ※支援期間：約2ヶ月

- ・電気技術者 正社員採用
- ・やまなしUターンフェアに参加し、過去の職歴が評価され採用となった。

④ 職業相談員の所感

- ・直近まで営業職として従事していたが過去の職歴のなかで、電気技術者として従事していた時期があり各種資格等も多数あり、柔軟な考え方やUターンを希望する動機や熱意が本人のなかでしっかりとしていたことが採用につながった。

⑤ 本人のコメント

- ・資格や経験は多少あるとはいえ、ブランクもあることから新たな気持ちで再スタートしていきたいと感じている。生活環境に慣れることも大事なので職場や周りの方とも交流しながら地域に馴染んで行ければと思っている。